

三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【外国語】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第5学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業で扱った語彙や表現に慣れ親しむ時間を十分に確保することができた。 挨拶や自分のことで簡単な語句や基本的な表現を聞いたり話したりすることができるようになった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字、小文字を書いたり、語句や表現を書き写したりすることに抵抗感がある児童がいる。 学習内容が分からなくなっても、質問をするなどして解決をする児童が少ない。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語に興味をもって取り組んでいる児童は多い。 挨拶や自分のことで簡単な語句や基本的な表現を聞いたり話したりすることができる。しかし、前の時間に習った語句や表現を忘れてしまう児童がいる。 アルファベットを読むことができる児童は多いが、自信をもって書くことができる児童は少ない。 苦手意識がある児童は、語句の練習の段階で授業への参加が消極的になり、学習するフレーズを覚えられないことがある。そのため、習ったフレーズを活用する段階で、何と言っているかわからない状況になることがある。 単語や表現方法が分からず質問に答えられない児童がいる。恥ずかしさや照れはあるが、児童は、前向きに取り組もうとしている。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する事柄について聞き取るまでの単語の理解ができていない。 前の時間に習った語句の反復する時間が十分に確保されていない。 目的や場面に応じて、自分の事柄について簡単な語句を使って表現できるだけの手だてができていない。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器等を使って映像や音楽に合わせて楽しく反復できる機会を設ける。 ◎ゲーム形式やノートに練習する形式をとり、アルファベットに慣れさせる。アルファベットのなぞり、視写と段階を追って取り組めるようにする。発展学習として、アルファベットを使って、既習の単語や表現を書いたり、英語ノートに練習させたりする。 ・恥ずかしさや照れを感じる児童もいるので、映像やゲーム、デモンストレーション等を取り入れ、リラックスして授業に臨める環境を整える。
第6学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間、ビンゴゲームを行ったことで、文字に慣れ親しみ、身に付いた児童が増えた。 友達の意見を受けて、リアクションをとるようになっていた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間が過ぎてしまうと、大文字・小文字を忘れてしまい、定着ができていない児童がいる。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を聞くことや話すことに親しんで取り組む児童が多いが、英語を読むことや書くことは苦手としており、身に付いていない児童もいる。 自分が覚えた語彙や基本的な表現を使って、伝え合うことができるが、音声で十分に慣れ親しむ段階までには至っていない。 ICT機器を活用していることで、外国の文化に対する理解は示しているが、英語を使って主体的にコミュニケーションを図る児童には個人差がある。 学習した単語や表現を生かして自分の考えや気持ちを伝え合おうとする児童が見られる。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アルファベットの大文字、小文字を活字で書く経験が足りていない。 自分が覚えた語彙や表現に慣れ親しむ時間が十分に確保できていない。 自分の意見を伝えることが主になっており、友達の意見を受けて、反応したり、それについての考えを伝えることができていない。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く活動において、定期的にアルファベットを確認する機会を設ける。 既習事項を復習する場面を作り、簡単な語句を繰り返し理解できるような学習計画を作成する ◎自分が述べるだけでなく、他者の発言から自己の学びを広げられるように、ICT機器等を使って、更に主体的に自分の考えを発信する機会を各単元で設定する。